

ドクターヘリに関するQ&A

Q1 ドクターヘリの運航時間は？

A 原則として、午前8時30分から午後5時30分(又は日没の30分前のいずれか早い方)を待機時間(出動要請を受け付ける時間)とする予定です。
毎日運航しますが、悪天候や視界不良時は運航できません。

Q2 ドクターヘリはどこに常駐していますか？

A ドクターヘリの基地病院は、秋田市の秋田赤十字病院(救急救命センター)です。秋田赤十字病院の敷地内にヘリポートと格納庫を整備して、そこにドクターヘリを常駐させます。

Q3 ドクターヘリの要請は誰でもできますか？

A 一般の方が直接要請することはできません。119番通報を受けた消防機関が出動を要請します。病院間の搬送の場合も、医師の依頼を受けて、消防機関が要請します。

Q4 ドクターヘリの出動が必要だと判断するのは誰ですか？

A 2通りあります。1つは、消防機関が救急現場に駆けつけて、傷病者の容態をみて判断する場合です。もう1つは、病院間の搬送の際に、搬送元病院の医師が判断する場合です。

Q5 どのようなときにドクターヘリが要請されますか？

A 緊急性があり、搬送前又は搬送中に医師の観察・処置が必要な場合や、搬送時間の短縮や予後の改善が期待できる場合に要請されます。

Q6 ドクターヘリはどこに着陸しますか？

A あらかじめ指定された野球場やグラウンドなどの臨時の離着陸場のほか、病院のヘリポートに着陸します。ただし、操縦士の判断でそれ以外の場所に緊急に着陸することもあります。

Q7 どこに搬送されますか？

A 基本的には、救急救命センターなどの三次救急医療機関又は地域の受入可能な二次救急医療機関に搬送されます。ただし、フライトドクターの判断により、それ以外の医療機関へ搬送することもあります。搬送先病院は、搬送時間や傷病者の容態等を考慮して決定します。

Q8 消防防災ヘリとドクターヘリの違いは何ですか？

A 消防防災ヘリは、常に救急医療に必要な医療機器を装備し、専門の医師・看護師が同乗しているわけではありません。ドクターヘリの場合は、常に必要な医療機器を装備しているのですぐに出動することができます。また、専門の医師・看護師が必ず同乗するため、救急現場や搬送中に処置を施すことができます。このため、ドクターヘリは救命率の向上や後遺症の軽減により効果があると期待されています。

Q9 患者が負担する費用はどのくらいかかりますか？

A 搬送にかかる費用は国と県で負担しますが、フライトドクターが傷病者に対し搬送前又は搬送中に行った診療行為については、医療保険制度に基づいた費用が発生し、患者さんの負担となります。